

地域とともにある

勢いのある学校

No. 18 (R3. 9. 21発行) 文責 校長 福田雅也

# 高き志【こころざし】

## 学校評価アンケート結果

標題の「学校評価アンケート」につきましては、昨年度の学校便り36号で、実施する根拠とご協力へのお願い、そして、その結果をHPでも常時広く公開していること等をお知らせしておりました。今年度は改めてお願いの学校便りは発行していませんので、HPに掲載している上記学校便りだけでご確認していただければと思います。また、本年度初めて紙面によるアンケートではなく、Web上でアンケートに回答していただく方法で実施しました。例年より回答率が若干低くなるという課題はありましたが、今後もこの方法で実施していけそうな手ごたえを感じることはできました。

今回は、7月末に実施させていただきましたその学校評価アンケート結果が出ましたので、それをお知らせいたします。右に示したのが、保護者の方々が対象の結果表になります。前回(令和3年3月実施)のアンケート結果との比較ができるように示しました。ご覧いただいておりますように、少し残念な結果となりました。

保護者アンケート結果	R3. 3月	R3. 7月
1. 自律(立)心	3.2	3.0
2. 自尊心	3.3	3.2
3. 他者意識	3.5	3.4
4. 主体的な学習	3.1	2.9
5. 家庭学習	2.7	2.6
6. 運動(外遊び)	3.4	3.2
7. 基本的な生活習慣	3.4	3.1
8. 学校が楽しい	3.6	3.5
9. 目標・努力	3.1	2.9
10. 地域学習	3.0	2.9
11. 「高木小でよかった」	3.5	3.4

11項目の設問がありましたが、すべての項目の数値が0.1~0.3ポイントの下降傾向となりました。(詳しい設問文につきましては、HP上「メニュー」→「学校評価」内でご確認願います。)この紙面には掲載しませんでした。実は児童のアンケート結果も同じような傾向でした。2回のアンケートは年度をまたいでおりますので、評価者が入れ替わっています。また、実施方法の変更や実施時期の違い等の条件が異なりますので、単純比較することはできませんが、全項目下降傾向という事実は学校として重く受け止めなくてはなりません。結果を真摯に受け止め、日々の教育活動の充実に取り組んで行くことを職員とともに確認し合いました。とは言え、本年度の教育活動を評価していただくという意味では、今回の結果との比較で、年度末の同じアンケートで向上傾向に転ずることがより大切だと考えています。今年度末に向け、子どもたちの姿をとおして、今回の数値が少しでも向上するようしっかりと取り組んでいきたいと思っております。

そんな中ですが、8番「子供は、学校が楽しいと感じていますか」という設問が一番高い数値になっていること、そして次に高い数値なのが、11番「子供は、『高木小でよかった』と思っておりますか」、3番「子供に、友達に優しく思いやりのある行動をとろうとする気持ちが育っていますか。」という二つの設問であったことは大変うれしことです。保護者の方々に、子どもたちは「学校が楽しい」「高木小でよかった」と感じていると思っただけ、教育活動の成果として「他者意識」が育ってきていると評価していただけたことは、私たちのこれからの教育活動推進にとって大きな後押しとなることは間違いありません。

昨年度は厳しい状況にあるとお知らせしていた学力の実態については、現在、全体的に向上傾向に転ずることができています。この波に乗るとともに、「学校が楽しい」「高木小でよかった」を大切な基盤としながら、子どもたちが伸び伸びと笑顔で頑張れる「勢いのある学校」でありたいと思っております。